

## \* 編集後記 \*

本号の展望では、IGS 日本支部の設立初期から学会活動に精力的に係れた太陽工業(株)の梶尾孝之氏に「今も昔もかわらずに」と題してご執筆いただきました。初代支部長の福岡正巳先生の先験的な考え方を紹介され、ジオシンセティックスが産官学の共同により普及してきた経緯を知ることができ、ジオシンセティックス学会が地盤と材料、あるいは利用者と供給者の協議の場を提供する意義を再確認できるものです。

コーポレートメンバー紹介欄では、高耐圧ポリエチレン管とテラセル（ジオセル）について概説され、ジオシンセティックス技術の発展を窺えます。また、技術報文では、凍上や塩害に対する耐久性を期待するジオセルとジオグリッドを組合せた構造の開発成果が報告されています。

地盤工学の高度化や公共構造物のライフサイクルコストの最適化に応じて、ジオシンセティックスの供給者と利用者が協力して、今後もジオシンセティックス利用技術が発展することを期待しつつ、末筆になりますが、ご多忙の中ご執筆いただいた方々に謝意を表します。

本号担当：小浪 岳治、西村 淳、鳥海 信弘

### IGS 日本支部編集委員会(名簿)

委員長	木幡 行宏	室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境系領域社会基盤ユニット
幹事	西村 淳	三井化学産資(株) 環境資材事業部
幹事	梶尾 孝之	太陽工業(株) 国土環境エンジニアリングカンパニー 事業開発室
委員	内村 太郎	東京大学大学院工学系研究科
委員	荻迫 栄治	清水建設(株)技術研究所
委員	川島 則子	(株)クラレ 原料資材第二部
委員	川邊 翔平	東京理科大学理工学部土木工学科地盤工学研究室
委員	小浪 岳治	岡三リビック(株)技術部
委員	高橋 真一	(株)大林組技術研究所
委員	土橋 和敬	前田工織(株)福井本社環境資材事業部水環境保全推進部
委員	原田 尚幸	(株)銭高組技術本部技術研究所
委員	鳥海 信弘	東洋紡(株)東京支社スパンボンド事業部
委員	松島 健一	(独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所

### IGS 日本支部会員現在数 (2013年7月末現在)

個人会員 208名 学生会員 16名 特別会員 17社 合計 241名

平成25年11月29日

ジオシンセティックス技術情報(国際ジオシンセティックス学会日本支部・会誌) Vol.29, No.3

発行：国際ジオシンセティックス学会日本支部

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公益社団法人 地盤工学会内)

事務連絡：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学地圏科学研究センター 桑野研究室内

TEL 048-858-9239 FAX 048-858-9239 E-mail iju@jcigs.org